



『超インテリアの思考』（晶文社）刊行記念イベント

身近なインテリア から考える建築と 都市の未来

山本想太郎 × 坂牛卓

2024年2月6日（火）19:00～20:30

会場 青山ブックセンター本店

東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 B2F

料金 1,540円（税込）

定員 90名

申込 HPより事前申込

<https://aoyamabc.jp/collections/event/products/2024-2-6>



『超インテリアの思考』の刊行記念トークイベントを開催いたします。なかなか身近に感じにくい「建築」という専門領域と「生活」とをつなぐ大気圏としての「超インテリア」という本書の視点を起点に、現代日本における社会と住環境の変化、そしてその未来像について語ります。著者で建築家の山本想太郎氏に加え、『教養としての建築入門』（中公新書）など建築・建築家を鋭く論じる建築家の坂牛卓氏をゲストに迎え、対談形式で議論が展開されます。

山本想太郎 やまもと・そうたろう

建築家。1966年東京生まれ。山本想太郎設計アトリエ主宰。早稲田大学理工学研究科修了後、坂倉建築研究所に勤務。2004年より現職。東洋大学・工学院大学・芝浦工業大学非常勤講師。建築作品に《磯辺行久記念 越後妻有清津倉庫美術館》、《来迎寺》、《南洋堂ルーフラウンジ》（南泰裕、今村創平と共同設計・監理）など。著書に『建築家を知る / 建築家になる』（王国社）、共著に『みんなの建築コンペ論』（NTT出版）など。



坂牛卓 さかうし・たく

1959年東京都生まれ。米カリフォルニア大学ロサンゼルス校大学院修了。東京工業大学大学院修了。博士（工学）。日建設計、信州大学工学部教授を経て、東京理科大学工学部建築学科教授。O.F.D.A. associates 主宰。建築作品に《長野県信用組合本社ビル》、《するが幼稚園》、《リーテム東京工場》、《松ノ木のあるギャラリー》など。著書に『会社を辞めて建築家になる』（フリックスタジオ）、『教養としての建築入門一見方、作り方、活かし方』（中公新書）など。

